

きど常太 つねひろ

建設委員会 少子化・次世代育成対策特別委員会

呉市倉橋町7379
[TEL] 0823-56-1211 [FAX] 0823-56-2430
http://t-kido.com/ E-mail:k.sakaguchi@beetle.ocn.ne.jp

〒730-8509 広島市中区基町10-52 広島県議会「広志会」控室
[TEL] 082-513-4620 [FAX] 082-223-0185

広志会 議員	砂原克規 [広島市西区] 総務委員会 地方創生・行財政対策特別委員会	井原 修 [東広島市] 警察・商工労働委員会 産業競争力強化対策特別委員会副委員長	宮本新八 [山県郡] 農林水産委員会 平和推進・地域魅力向上対策特別委員会	佐藤一直 [広島市中区] 文教委員会副委員長 社会基盤整備対策特別委員会
-----------	--	---	---	--



声が・顔が・夢が デカイ きど常太



交通インフラの整備を改めて考える

休山トンネルが4車線化
休山トンネルの4車線化が、平成30年度中にも実現しようとしています。

その効果として、呉市東西の連絡性が向上し、トンネル周辺の渋滞緩和などが期待できることですが、果たしてそうなのでしょうか？

4車線化により、確かに渋滞の長さは解消するかも知れませんが、トンネルの入口と出口には信号機があるため、車の流れが止められて、所要時間の大幅な短縮には必ずしもつながらない可能性があります。

JR呉線の利便性向上を

交通インフラで重要なのは、大量輸送と定時性の確保が可能な軌道系ですが、最近、JR呉線では快速列車の充実によりスピードアップが図られ、呉駅〜広島駅間が30分程度になりました。しかし、停車駅が限られているほか、全体の運行本数も減少しており、利便性の向上に向けて、引

き続き抜本的な対策を検討する必要があります。

道路網の整備が必要

JR呉線の抜本的な対策を行うにはハードルが高く、相当な時間もかかりますので、近年、高速バスのクレアライン線が好調なことから、まずは道路網の整備を図り、鉄道に変わるバス路線を確保していくなどの対策が求められます。

現在、広島呉道路や東広島呉道路は1車線で供用を開始していますが、これらを複線化すれば、時間短縮と交通量の増加につながるのと同時に、定時性も高ま



り利便性が向上します。

さらに4車線化した休山トンネルと東広島・呉道路そして広島呉道路を信号機のない自動車専用道路で結び、必要に応じて乗り降りできるインターを設ければ、呉市東西の流れは劇的に改善されるでしょう。

加えて、それらの自動車専用道路と警固屋音戸バイパスや第二音戸大橋をつなぐとともに、安芸灘大橋無料化を他県の事例等も参考にして早期に実現することができれば、島しょ部からの交通アクセスの利便性も向上します。

交通インフラ整備による

持続的な発展を

呉市から企業流出が続き、雇用の場が無くなるおそれがありますが、今、企業は厳しい競争に勝つために、道路等の整備により人や物を計画通りに運び「時間コスト」削減を図ることが求められています。

また、最近の下請け企業等は、

技術革新等により、部品や素材等の変化に対応していくため、取引先を変えていく必要に迫られています。

こうしたことから、企業は「時間コスト」削減や取引先を拡大するため、どこに行くにも短時間かつ定刻で行けるように、新幹線の駅や空港の近くの場所を求めて流出していくのです。

道路等の交通インフラを整備して「時間コスト」の削減を図ることができれば、呉市に立地していても、どこでも短時間かつ定刻で行くことが可能となり、流出する必要は無くなります。これは、観光客の増大や企業活動の活性化にもつながり、呉市の産業全体の発展にも資するのです。

かつて呉市は「陸の孤島」と言われた時代がありました。人口減少・少子高齢化が進む中、この度の休山トンネルの4車線化も契機として、そうした交通インフラを積極的に充実させていくことにより、都市としての基盤整備を図り、今後の持続的な発展につなげていく必要があると私は考えます。

住んでみたい元気な広島県に

広志会のポリシーは、県民のためになるかどうかを軸に活動しています。執行部の提案等には是々非々の姿勢を変えないことはもちろん、会派内研修や議会視察研修等も積極的に取り組み、常に温故知新を意識して努めています。

元気な広島県を創出するために、地域の現状と課題を分析し、対応策を考えた活動を重ねる活動や、国への働き掛けも積極的にを行っています。どうぞ、皆様方の県政に対するご意見をお寄せください。



田島漁業協同組合(福山市内海町)調査



熊本地震の復興状況調査(阿蘇長陽大橋)



城戸会長を囲み、左から宮本・砂原・井原・佐藤の各県議



熊本地震の復興状況調査(緑川下仲間地区)



2月定例会・予算特別委員会で質問